

成分名	グリチルリチン酸
英 名	Glycyrrhizinic Acid
CAS No.	1405-86-3
収載公定書	薬添規 外原規
A TOXNET DATABASE へのリンク	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/1405-86-3

投与経路	用途
経口投与	矯味剤

1 単回投与毒性

1.1 LD₅₀

動物種	性別	投与経路	LD ₅₀
マウス	—	経口	4320mg/kg ¹⁾
マウス	—	経口	5000mg/kg ²⁾
マウス	—	静脈内	589g/kg ¹⁾
ラット	—	経口	5800mg/kg ³⁾

2 反復投与毒性

① マウスに 18 日間連続経口投与し、TDL₀ は 90mg/kg であった⁴⁾。

3 遺伝毒性

① ハムスター卵巣細胞を用いた変異原性試験において、100 μmol/L で変異原性を示した⁵⁾。

4 癌原性

該当文献なし。

5 生殖発生毒性

該当文献なし。

6 局所刺激性

該当文献なし。

7 その他の毒性

該当文献なし。

8 ヒトにおける知見

① ヒトに 3 日間、間欠的に経口投与し、TDL₀ は 5571 μg/kg であった⁶⁾。

② ヒトに 4 週間経口投与し、TDL₀ は 280mg/kg であった⁷⁾。

③ ヒトに 1 年間、間欠的に経口投与し、TDL₀ は 662mg/kg であった⁸⁾。

引用文献：

- 1) Zhongguo Yaoxue Zazhi Chinese Pharmacuetical Journal **28**, 215, 1993
- 2) Pharmaceutical Chemistry Journal (English Translation) **36**, 11, 2002
- 3) Farmakologiya i Toksikologiya (Moscow) **54**, 47, 1991
- 4) Life Sciences **69**, 2429, 2001
- 5) Mutation Research, **367**, 99, 1996
- 6) Toxicologist **54**, 109, 2000
- 7) British Medical Journal **1**, 488, 1977
- 8) Internal Medicine (The Japanese Society of Internal Medicine) **31**, 708, 1992

PEC JAPAN SAFETY DATA